

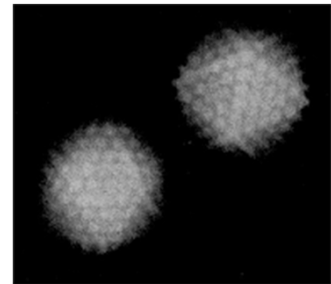
流行性角結膜炎



結膜炎とは

結膜とは、まぶたの内側から白目の部分をおおっている膜のことで、ゴミや病原体が目やその奥に侵入するのを防ぐ大切な役目をしています。その結膜が炎症を起こした状態を結膜炎といいます。

- ウイルス性結膜炎
アデノウイルスによる流行性角結膜炎、咽頭結膜熱（プール熱）
エンテロウイルスによる急性出血性結膜炎（アポロ病）
ヘルペスウイルスによるヘルペス性結膜炎
- 細菌性結膜炎
インフルエンザ菌、肺炎球菌、黄色ブドウ球菌、
淋菌（りんきん）などによる結膜炎
- アレルギー性結膜炎
- 外界からの刺激物質による結膜炎



アデノウイルスの電子顕微鏡写真



流行性角結膜炎の症状

流行性角結膜炎は、角膜（黒目をおおう膜）と結膜に炎症が及ぶため“角結膜炎”と呼んでいます。また“はやり目”とも言われ、主としてアデノウイルス8型による感染で起こります。非常に感染力が強く、感染してから1週間前後の潜伏期間をおいてから症状が現れます。突然結膜が充血し、涙が出てきます。そしてまぶたが腫れ、ゴロゴロとした異物感があります。耳下腺リンパ節が腫れることもあります。症状が治まりかけた頃に角膜の表面に点状の濁りがたくさんできて、一時的な視力低下を起こすこともあります。



治療

流行性角結膜炎に有効な特効薬はありませんが、ウイルスで弱った目に混合感染を防ぐ目的で抗生物質や、消炎剤の点眼薬が使われることがあります。治るのに2～3週間程度かかります。



人にうつさないためには？

流行性角結膜炎は伝染力が強いため、他人にうつさないように注意が必要です。

- 目をこすらないようにしましょう。
- 手は石けんでよく洗い、十分な流水で洗い流しましょう。
- 接触感染なので、タオルや洗面用具、目薬などは他の人と分けて使いましょう。
- 学校保健安全法上の学校感染症の一つで、医師により感染のおそれがないと認められるまで出席停止となります。

※福岡市保健環境研究所では、平成4年から感染症発生動向調査事業を実施し、流行性角結膜炎患者からウイルス分離・検出を行っています。